

東北3中学52人招待

岡山3校の選手と交流 復興支援でサッカー親善試合



懸命のプレーを繰り広げる大槌中と総社東中の選手たち (総社北公園陸上競技場)

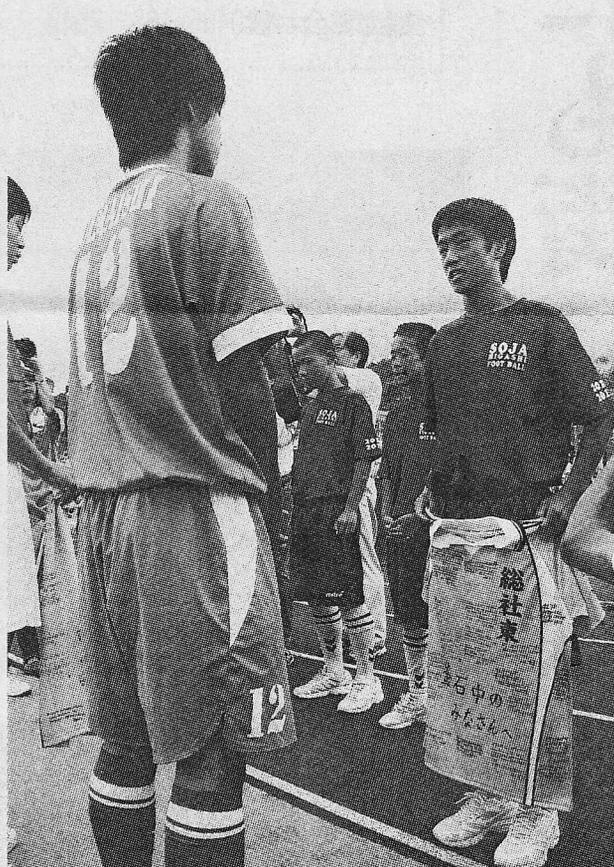
被災した岩手、宮城2県3
中学校と岡山東内3中学校の
サッカー部が対戦する「東日
本大震災復興支援サッカー親

善交流大会」(総社市、A M
D A主催)が3日、総社市福
井の総社北公園陸上競技場で
開かれ、選手同士がきずなを

深めた。
同大会は、A M D Aが医療
支援した縁で、岩手県釜石市
立釜石中、同大槌町立大槌中、

宮城県南三陸町立志津川中の
52人を招待。岡山県勢は総社
市立総社東中、岡山市立香和
中、同吉備中の3校121人
が出場した。
試合に先立ち、総社東中の
横田哲也主将(14)ら3人が
「自分ができることは少ない
けど、いい方向に進むようが
んばって」と声をかけ、応援
メッセージを寄せ書きしたユ
ニホームを東北3校に贈呈。
受け取った釜石中の小川真
夏斗主将(16)は「東北と離
れているけど、自分たちを思
ってメッセージをくれてうれ
しかった」と話した。
1ゲーム20分の総当たり戦
で、選手たちは日ごろの練習

の成果を発揮しようと懸命に
ボールを追いかけた。
津波で校舎が使えず、近く
の高校で練習している大槌中
の藤原可偉主将(14)も、は
つらつとプレーし「招待して
もらったことを感謝してい
る。岡山のみんなと仲良くな
りたい」と笑顔を見せた。
東北3校の生徒は3日夜、
総社東中生徒の家庭にホーム
ステイし、友好を深めた。
4日は、岡山市内で引き続
き交流試合。その後、第2次
大戦で原爆被災から復興した
広島市と、阪神・淡路大震災
から立ち直った神戸市長田区
を訪れるという。



応援メッセージを寄せ書きしたユニホームを渡す
総社東中の選手 (総社北公園陸上競技場)